

令和 7 年度 第 1 回日本遺産「桑都物語」推進協議会 総会 議事録

日時:令和 7 年 (2025 年) 7 月 9 日 (水) 16:00~17:40

会場:八王子エルシィ

※特記のない限り日本遺産「桑都物語」推進協議会の名称は「協議会」と表記する。

開会前挨拶

【名誉会長】

- ・ 日頃より市政へのご理解ご協力に感謝する。
- ・ 八王子市内では日本遺産を活用した様々な取組が実施されており、賑わいの創出が図られている。
- ・ 昨年は八王子商工会議所が創立 130 周年を迎え、これを彩る形で今年 2 月から八王子桑都千景プロジェクトが始動した。J:COM ホール八王子で行われた創作新内浄瑠璃劇を拝見したが八王子の伝統と文化が凝縮された大変素晴らしいものであった。
- ・ 5 月には、八王子市では初めてとなる政府系国際会議 APEC SMEWG において、高尾山などの日本遺産を活用したおもてなしにより、政府代表者の方々に八王子の素晴らしさを感じていただけた。
- ・ 7 月には、いちようホールがリニューアルオープンし、オープニングセレモニーとして八王子車人形の皆様にご協力いただいたところである。
- ・ 7 月下旬には八王子花火大会、8 月には八王子まつりの開催が予定されており、多くの市内外の方々に訪れていただき、八王子の伝統文化などの素晴らしさを感じていただければと考えている。
- ・ 翌年には日本遺産の総括評価・継続審査が控えている。これまで皆様に協力いただいた素晴らしい実績、そしてこれからの取組を評価していただき、ぜひとも日本遺産を継続していきたい。

委員の変更

【事務局】

人事異動等により委員の交代があったため紹介する。(委員名簿のとおり)

また、協議会規約に基づきオブザーバーとして 3 団体が参加している。

総会開会

【事務局】

会長が欠席のため、協議会規約第 8 条第 2 項に基づき、副会長が会長の職務を代理し、議長として議事進行をお願いする。

総会の成立

【副会長】

出席者数が過半数を超えているため、本会は有効に成立する。

- ・ 出席者数:20 名
- ・ 欠席者:2 名

第1号議案 役員（会長）の選任について

【事務局】

会長から、任期満了前ではあるが、本日の総会をもって会長と委員の職から退きたい旨の申し出があった。会長から退任のメッセージを預かっているため報告する。

【会長からのメッセージ】

- ・ 本来であれば、この場をお借りして直接お伝えすべきところ、本日出席が叶わず、このような形での報告となったことをお詫び申し上げます。
- ・ 本日の総会を以って日本遺産「桑都物語」推進協議会の会長と委員の職を退任させていただきたい。
- ・ 令和2年に日本遺産に認定されて以降、様々な取組を行い、特に令和5年の「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」が無事に開催できたことにより、充実感や達成感を得ることができたと同時に、会長としての「引き際」も考えるようになった。
- ・ 会長の任期が残っており、また、令和8年度に総括評価・継続審査を控えている中での退任は、大変心苦しく思う。
- ・ これまで会長としての任を全うできたのは、皆様のご尽力によるものであり、心より感謝申し上げます。
- ・ 次期会長のもと、今後「日本遺産『桑都物語』推進協議会」の益々の発展と日本遺産の認定が継続されることを心よりお祈り申し上げます。

【事務局】

協議会規約第5条第2項に基づき、会長は委員の中から互選する。審議願いたい。

【副会長】

会長の立候補または指名はあるか。

【委員】

組織の継続性などを考えると、副会長に任せるべきと考える。ついては、檜崎 博副会長を推薦する。

【副会長】

会長を檜崎 博副会長に決定することについて異議はないか。

→異議なし

【副会長】

異議ないものとして、そのように決定する。桎崎 博会長から協議会会長就任の挨拶を頂戴したい。

【会長】

- ・ これまで前会長の強い想いで、協議会を推進してきた。
- ・ この想いを引き継ぎ、更に前進していきたいと考えているため、皆様のご協力をお願いしたい。

(以降、会長が議事進行)

【会長】

会長選任に伴い、副会長に 1 名欠員が生じたため、この場で副会長の選任を行うことを提案するが、異議はないか。

→異議なし

【会長】

異議ないものとして、そのように決定する。副会長の選任について、事務局から説明願う。

【事務局】

桎崎 博会長が協議会会長に就任したことに伴い、協議会規則第 5 条第 2 項に基づき、副会長のうち 1 名について互選により決定したい。審議願いたい。

【会長】

副会長の立候補または指名はあるか。

【委員】

日本遺産については、これから先、観光面での活用に向けた取組が重要になると思うため、副会長を八王子観光コンベンション協会の会長である加藤 高白委員を推薦する。

【会長】

副会長を加藤 高白委員に決定することについて異議はないか。

→異議なし

【会長】

異議ないものとして、そのように決定する。加藤 高白副会長から協議会副会長就任の挨拶を頂戴したい。

【副会長】

- ・ まずは、日本遺産推進協議会の立ち上げから今日まで軌道に乗せていただいた前会長に敬意を表したい。
- ・ 八王子観光コンベンション協会という組織を背負って副会長を務めていくことになるため、私たちの強みを活かして副会長の任にあたりたいと考えている。
- ・ 会長のもとで取り組んでいくので、皆様のご協力をお願いしたい。

第2号議案 役員（監事）の選任について

【事務局】

協議会の役員である監事2名のうち、市民活動推進部長が令和7年4月1日付で人事異動となった。

協議会の役員の選出は、協議会規約で議決事項とされている一方で、監査は監事2名により「3月末以降2か月以内に実施する」こととなっている。対応として、協議会規約第15条の委任条項を適用し、監事の代理を会長が定めることとした。そこで、現職監事1名及び監事代理1名により、令和6年度決算の監査を実施し、監査報告書を調製した。

監事には、八王子市 市民活動推進部長の真辺 薫委員にお願いしたいと考えている。

【会長】

監事に真部委員を選任することについて、異議はないか。

→異議なし

【会長】

異議ないものとして、そのように決定する。

第3号議案 令和6年度事業実績について

第4号議案 令和6年度収支決算について

【会長】

第3号議案と第4号議案については相互に関連するため、一括して事務局から説明願う。

（事務局から第3・4号議案資料に沿って説明）

【事務局】

令和6年度事業実績について、7月10日と1月31日に総会を開催したほか、10月26・27日に会津若松市で「日本遺産フェスティバル in 極上の会津」に参加、また、2月15・16日に京都市の東本願寺で日本遺産10周年を記念した「日本遺産マルシェ in 京都」が開催され、記念式典には市長が出席された。2月18日には日本遺産勉強会を開催し、協議会の皆様にも参加いただき、日本遺産を活用した地域活性化をテーマに意見交換等を実施した。

また、文化庁の「魅力増進事業」及び「魅力発信事業」を活用しながら、文化観光の推進に重点を置いた事業を進めてきた。

＜令和6年度 事業実績＞

(1) 人材育成事業

外国語ガイドボランティア育成

(2) 普及啓発事業

日本遺産・桑都フェスタ2025 ～繊維でつながる「織物のまち」～、桑都ブランド「ottary」商品開発事業、100年続く桑都の食開発事業、など。

(3) 情報コンテンツ事業

日本遺産「桑都物語」ポータルサイトリニューアル、アクセスガイドマップ制作、#いこう

よ桑都～桑都・八王子魅力発進事業～、「上の祭り・下の祭り（八王子まつり）」全方位デジタルコンテンツ制作、「高尾山薬王院火渡り祭」PR映像撮影、など。

(4) 活用整備事業

日本遺産PRフラッグ製作・設置

第5号議案 令和6年度監査報告について

【会長】

続いて第5号議案について、監事から報告願う。

【監事】

5月31日に令和6年度収支決算の監査を実施し、決算書、収支差引簿及び関係書類について監査した結果、いずれも適正に執行されていたことを確認できたため、ここに報告する。

【会長】

第3号議案から第5号議案について承認するものとして異議はないか。

→異議なし

【会長】

異議ないものとして、そのように決定する。

第6号議案 令和7年度事業計画（案）について

第7号議案 令和7年度収支予算（案）について

【会長】

第6号議案及び第7号議案について、一括して事務局から説明願う。

（事務局から第6・7号議案資料に沿って説明）

【事務局】

令和5年度の日本遺産フェスティバルの開催をはじめとした様々な取組により日本遺産の認知度向上や推進体制の強化につながった一方、回遊性の向上や若年層の認知度向上が課題。令和7年度は、令和8年度の文化庁総括評価・継続審査を見据え、中長期的な視点での地域活性化のため、文化観光の推進に重点を置いた予算（案）としている。

＜令和7年度事業計画（案）における主な取組＞

(1) 人材育成事業

外国語ガイドボランティア育成、既存ボランティアのリスキリング

(2) 普及啓発事業

桑都ブランド（織物）商品開発、桑都の食関連商品の普及啓発、「桑都物語」ガイドブック【探求入門編】の作成、など。

(3) 調査研究事業

日本遺産PRに向けたアニメコンテンツ等の活用に関する調査研究、AI活用によるガイド機能拡充に係る調査研究

(4) 調査研究事業

ポータルマップによる情報配信、周遊ルート情報のデータ化、都心部における日本遺産PR促進、ECサイト（オンラインショップ）運営、など。

(5) 総括評価・継続審査関連

次期地域活性化計画策定支援業務委託

(6) 日本博 2.0

体験の高付加価値化、プロモーション、商談対応

【会長】

第6号議案及び第7号議案について、原案のとおり承認するものとして異議はないか。

→異議なし

【会長】

異議ないものとして、そのように決定する。

協議事項 日本遺産総括評価・継続審査について

【会長】

日本遺産総括評価・継続審査について、事務局から説明願う。

（事務局から協議資料に沿って説明）

【事務局】

令和8年度は日本遺産総括評価・継続審査の対象となる。次期地域活性化計画の方向性として次の3点を考えている。

①現行計画の将来像「郷土愛の醸成」「関係人口の増加」「地域の活性化」を引き継ぎ、その達成に向けて追求していく。

②多様化する価値観やニーズを適切に捉え、多くの市民や事業者が日本遺産の成果を享受できるように取り組む。

③市民や民間事業者、大学などとの共創による桑都物語のブランディングの向上を図り持続可能な取組とする。

次期地域活性化計画の策定に向け、関連団体へのヒアリングや協議会部会への照会を行い、本年11月末を目途に計画案の作成を進めていく。

【会長】

今後の取組や方向性などについての意見や、また、それぞれの団体でこのような取組をしたいといったものがあればぜひ提案をいただきたい。

【委員】

第6号議案「令和7年度事業計画」では「高付加価値化」という言葉が登場していたが、一方で協議事項「日本遺産総括評価・継続審査」の次期地域活性化計画の中には「高付加価値化」

があまり登場しなかった印象を受けた。今後、高付加価値化についての具体的な取組などがあればご教示願いたい。

【会長】

次期地域活性化計画については、今後、委員の皆様からの意見を踏まえ策定していきたいと考えている。本日この場で具体案を決定することはしないため、今後ぜひご意見をいただきたい。

報告事項

【会長】

各報告事項について、事務局から説明願う。

(事務局から以下の報告事項について資料に沿って説明)

- (1) 文化庁「日本遺産オフィシャルパートナーシッププログラム」及び「日本遺産サポーター登録制度」について
- (2) 文化庁「食文化ミュージアム」の認定について
- (3) APEC SMEWG（中小企業作業部会）の報告について
⇒APEC 開催状況をまとめた映像を上映
- (4) 「八王子桑都千景」の報告及び今後の取組について

【八王子商工会議所 守屋 清志常務理事】

八王子桑都千景事業の事務局を担った八王子商工会議所より報告する。J:COM ホール八王子で行ったオープニングイベント創作新内浄瑠璃劇では、新内の家元プロデュースのもと、八王子車人形、木遣、祭囃子、八王子芸妓衆などが一堂に集まり、江戸時代の高尾山や八王子宿を背景とした浄瑠璃劇を行った。日曜日の夜であったにも関わらず約1,100名が来場し、多くの方から高い評価をいただいたところである。八王子桑都千景については継続を希望する声もいただいていることため、今後の取組について検討していく。

- (5) 持続可能な高尾観光まちづくり事業の報告について
⇒ブランドメッセージ「近くて楽しい日本遺産、高尾山」のPR映像を上映
- (6) 「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」の実施状況について
- (7) 日本遺産ロゴマーク使用申請及び後援名義使用申請の状況について

委員 挨拶

【委員】

- ・ 会長をはじめ、新たに役職に就任した皆様については、協議会の推進に向けお力添えいただきたい。
- ・ 日本博2.0については、私たちにとっても大歓迎の取組である。高尾山の山伏からの生の言葉や文化を発信するPR映像の制作や、インバウンドの方々の興味を引くようなお護摩の灰や音を活用した御守などの造成に取り組んでいるほか、インバウンドへの対応力向上研修の開催なども予定している。

- ・ 高尾山は、奈良時代に開かれた霊山であり、八王子のまちの繁栄とともに、人々の生活の中に文化が組み込まれて今日に至る。日本遺産や日本博 2.0 などの取組は、それらの八王子の文化を更に堅固なものにしていくものであり、それが日本遺産の継続や次世代を担う子どもたちの郷土愛の造成にもつながっていくと考える。
- ・ 日本遺産の取組を推進していくためには、協議会の皆様の協力が原動力になるため、引き続き皆様それぞれの協力と支援をお願いしたい。

閉会

【会長】

これにて、令和 7 年度 第 1 回日本遺産「桑都物語」推進協議会 総会を閉会する。